

回覧

今回は教育委員会のみです。

第11号
R6. 1月



「3つの合言葉」元気・学び・会話



【発行・編集】
滑川町教育委員会
TEL0493-56-6907

町の子供は町で育てる

滑川町教育委員会だより

「学んでよかった町へ -チーム滑川での教育-」



明けましておめでとうございます
本年もよろしくお願いたします



今年辰年です。その中でも「甲辰(きのえたつ)」にあたるそうです。「甲」は以前通信簿の評定(甲乙丙丁)に使われたことがあるように、十干(じっかん)の一番先頭であり「生命や物事の始まり」また、辰は十二支の中で唯一架空の生き物で「草木が伸長し活気あふれる、権力の象徴、正義など」という意味があるそうです。この2つが重なると「芽生えや大きく育った樹木といった成長を感じさせる」意味を持つようです。

辰は、竜や龍のことです。これらを使ったことわざは多くありますが、その中でも「雲は竜に従い風は虎に従う」が、私は好きです。これは、竜が空を飛ぶときに雲がその後を追い、虎が走るときに風が吹き、その後を追うイメージから来ているようです。この言葉は、素晴らしいリーダーや才能がある人がいる場所には、その人を支える、または共に行動するすごい人が集まるということ伝えていています。「自分を磨くことで良い仲間が得られる」「経営者が有能であれば、有能な社員が集まる」ことにも通じます。このスタートの時期にあたり、自分を磨くことで、更に良い仲間が得られるように努力することを念頭の誓いにしたいと思います。

一年の計は元旦にあり

今年は何んな年にしたいのか計画を立てる際に、よく使われる言葉です。この言葉は中国の「四計」から来ているといわれています。「四計」とは

「一日之計在晨、一年之計在春、一生之計在勤、一家之計在身」です。

「一日の計は晨(あした=夜明け)にあり、一年の計は春(春節=元旦)にあり、一生の計は勤めにあり、一家の計は身を修めるにあり」です。計画を立てることは、それぞれの時期を大切に過ごすことに他なりません。一日を大切に過ごすために朝を大事に、一年を大切に過ごすために元旦を大事に、一生を大切に過ごすために仕事(学業)を大事に、一家と大切に過ごすために心身を大事にすることです。

始めの計画がうまく立てられないと、物事はうまくいきません。

戦国時代の武将毛利元就(もうり もとなり)は、元旦に祝いの膳を進めた家臣に、元旦はそんな暢気なものではなく、一年のことをじっくり考えることが、本当の祝いであると戒めたといわれています。元就も「一年の計は春にあり、一月の計は朔(ついたち)にあり、一日の計は鶏鳴(けいめい)にあり。」といったと伝えられています。

「始めよければ全てよし」「始めよければ終わりよし」ということわざもありますが、「始め」に計画を立てるなど大切にし、その達成に向け努力を惜しまず最後までしっかりとやり遂げていきたいと思っています。

回覧

今回は教育委員会のみです。

思いを夢に、失敗を恐れず挑む年にしましょう！

球団の移籍で注目を集めている大リーガーの大谷翔平氏が「人生が夢を作るんじゃない。夢が人生を作るんだ。」と語りました。また、「このグローブが私達の次の世代に夢を与え勇気づけるためのシンボルとなることを望んでいる」と約6万個のグローブを寄贈したことで話題になりました。大谷氏は「成功するとか失敗するとか僕には関係ない。それをやってみる方が大事。」と挑戦することの大切さも述べています。

北海道でリサイクル関係の会社をやりながら、自分たちでロケット、人工衛星を作って打ち上げた植松努氏も、「思うは招く」という言葉で、思い続けることの大切さを語っています。

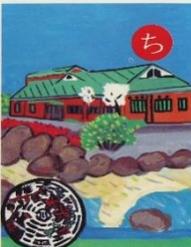
滑川町のよさを知ろう！「滑川郷土かるた」を通して No.12

町には施設がいくつかあります。今回は「施設に関わる札」を紹介します。



コミセンは はずむ会話と 憩いの場

昭和54年7月に滑川町コミュニティセンターとしてオープンしました。コミセンの愛称で住民に親しまれクリーム色の壁に斜めにそそり立ったレンガ色の屋根が印象的です。滑川町中央公民館も併設されています。コミセンは、公民館事業等の生涯学習活動の場として、親しみ、愛されています。子どもまつり、盆踊り大会、様々なサークル活動、芸能大会、講演会、敬老会、青少年主張大会などにも利用され、町民の笑顔の集まる場所です。



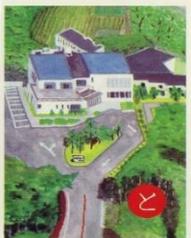
町民の 環境守る 浄化センター

センターは、市野川流域下水道の処理施設で、現在は市野川上流水循環センターといいます。広さは6haあり、滑川・嵐山・小川の下水をきれいにして市野川に流します。環境を守る地球にやさしいみんなの施設です。



武蔵野の 自然が残る 森林公園

明治百年事業のひとつとして昭和49年に、国営公園第1号として開園しました。東西1km、南北4km、面積304haという広大な公園です。昭和42年に森林公園建設事務所・建設省出張所が置かれ、翌年に工事が着工しました。この間、46年3月東武東上線に「森林公園駅」が開設され、公園並びに当時の村の表玄関となりました。



としよりの 憩いの場所や 松寿荘

松寿荘は、昭和50年、比企広域市町村圏組合が、圏内のお年寄りの休養と憩いを目的に宿泊できる施設として作りました。現在、この松寿荘は老朽化が進み、取り壊し工事をし、一部倉庫として活用しています。



欄干に もたれて語る ふれあい橋

役場庁舎とコミュニティセンターを結ぶ「ふれあい橋」は、昭和56年に完成しました。幅3m、長さ25.6mあり、県のふれあい事業補助金を受けたことから「ふれあい橋」と名づけられ町民に親しまれています。